

人物を描く

松園 松篁 淳之

それぞれの人物画



上村松篁「万葉の春」(部分) 昭和45年(1970) 近鉄グループホールディングス株式会社蔵 松伯美術館管理

2024年

8月31日(土)～12月28日(土)

【休館日】月曜日(ただし、月曜日が祝日、休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)

会期中一部展示替えがあります

【開館時間】10時～17時(入館は16時まで)

【入館料】大人[高校生・大学生を含む]820円、小学生・中学生410円 【主催】公益財団法人 松伯美術館、毎日新聞社

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号
Tel.0742-41-6666

松伯美術館
SHOUHAKU ART MUSEUM



松伯美術館 検索





上村松篁「春雨」昭和9年(1934)



上村松園「娘」大正15年(1926)
8月31日～10月6日展示



上村松園「人形つかい」明治43年(1910)
10月8日～12月28日展示



上村松園「虫の音」明治42年(1909) 8月31日～10月6日展示



上村松園「楊貴妃」大正11年(1922) 8月31日～10月6日展示



上村松篁「額田女王」昭和44年(1969)



上村松篁「有間皇子」昭和44年(1969)



上村松園「花がたみ」大正4年(1915)
10月8日～12月28日展示



上村淳之「フラ・アンジェリコ受胎告知模写II」
昭和50年(1975)

子供のころから人物画が好きで、生涯をかけて美人を描き続けた上村松園だけでなく、花鳥画家として知られる松篁と淳之も人物画を描いています。

松篁には、身近に題材をとっているうちに子供たちが成長してきて人物画になったという戦前の作品と、井上靖作『額田王』の挿画を機に描かれた作品があります。淳之は、「花鳥画は花や鳥に己の人格を託し得てこそ、はじめて絵なのだとの想いから、人物画を描くことで、自分を試してみる必要があるとはかねがね思っていた」と述べました。

三代それぞれの人物画とそこにまつわる想いをご紹介します。

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

松伯美術館「友の会」会員募集中!

無料入館ほか様々な特典をご用意、皆さまのご入会をお待ちしております。

交通のご案内

近鉄奈良線「学園前駅」北口バスターミナル⑤・⑥番のりばよりバス約5分、「大淵橋(松伯美術館前)」下車、大淵橋を渡った右側。 ※駐車台数に限りがあるため、「電車・バス」のご利用をお願いします。



松伯美術館は、Googleが提供するGoogleArts&Cultureに参加しています。当館所蔵作品の高解像度画像や360°のパノラマ画像「ミュージアムビュー」で館内の様子をご覧いただけます。

<https://artsandculture.google.com/> ▶ [shohaku](#) 検索